

業界初の「IBCローリーサービス」で 環境改善と利便性向上を実現

株式会社 FUKUDA

代表取締役 福田 喜之さん



福田 喜之さん

ドラム缶を使わない新サービスの必要性

近畿2府4件を中心に、自動車やバイクの潤滑油（エンジンオイル）を販売している株式会社FUKUDA。昭和44（1969）年の創業以来、潤滑油専門の企業として、カーディーラー、カーショップ、自動車修理工場、バイクショップを中心に関西で約2,200件の顧客を獲得し、約20%のシェアを確保しています。

同社の強みは、潤滑油の販売から保管、運送、最終処理に至るまでの「ワンストップサービス」を行なっている、数少ない企業であるところです。代表取締役福田喜之さんは納品の際、従業員が潤滑油の入った重いドラム缶やペール缶を持ち上げて、約40分掛けて車から積み降ろす現状に、以前から改善の必要性を感じていました。また、ドラム缶の代金約4,000円はオイル料金に上乗せされており、ドラム缶の廃棄処分にコストが掛かる状況も問題でした。

「ドラム缶を使わずに、もっと楽に、効率良く潤滑油を運搬する方法はないだろうか」と考えた福田さんは、IBCタンクの活用を思いつきます。ドラム缶5本分の容量がある箱形のIBCタンクは、他業界では果汁や薬品、インクなどの大量の液体の運搬に一般的に使用されている容器です。「オイルの入ったIBCタンクを車に積み込み、顧客が必要とする分だけ販売することができれば、積み降ろしの負担が減らせるし、ドラム缶の代金や廃棄費用が削減できる」。こうした発想から、IBCタンクを使った新方式のサービスの試みが始まりました。



液体の運搬に使われるIBCタンク

環境改善とコスト削減ができる IBCローリー方式

IBCタンクを積み込んだ運搬車両が完成し、本格的な導入がスタートしたのは平成24（2012）年のことです。ワゴンタイプの車両をもとに、フォークリフトでICBタンクを後部ドアから積み込めるように改造したものが1号機となりました。

環境対策

想定通り、同社の従業員の身体的負担もはるかに軽減し、安全性も向上しました。労働環境の改善とともに、納品時の作業時間は20分に短縮され、業務の効率アップにつながっています。

ドラム缶に替わる保管容器として、顧客には小型のオイルタンクを3年契約で無償提供しました。消防法検査に合格しているオイルタンクの使用は、オイル漏れ予防にもなり、危険物管理体制が整います。またこのタンクにより、顧客はリッター単位でのオイル購入が可能になりました。また場所を取るさまざまな大きさのドラム缶やペール缶がなくなったことで、作業所内の整理整頓ができ、職場環境が良くなったと顧客に喜ばれています。



ワゴン車を改造したIBC運搬専用車



車両へのIBCの積み込みはリフトで行ないます

CO₂排出量削減でエコマーク認定

ドラム缶を不要とし、繰り返し使えるIBCタンクを導入したことは、CO₂排出量の大幅な削減にもつながりました。1缶あたりのCO₂排出量が約38kgと想定すると、これまでの年間販売本数2,680本分で101,840kgの年間排出量を削減できたこととなります。これは家庭の電気使用量に換算すると、約50世帯の年間CO₂排出量に相当するそうです。この環境保全への貢献を受けて、同社の

きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業 平成24年度 事例集

IBCローリーサービスは、平成24（2012）年にエコマーク認定を取得しました。

またIBCローリーサービスの内容が経営革新と認められ、同年に京都市よりオスカー認定を受けたほか、平成25（2013）年には第4回「知恵ビジネスコンテスト」の知恵ビジネスプラン認定を受賞しました。

サービスを提供する側とされる側の両方で、職場や労働環境の改善や効率アップ、コスト削減を実現させ、地球にもやさしいIBCローリーサービス。それは画期的なシステムとして、社会に広く認められることになったのです。

オイル残量検知システムの構築を開始

平成25（2013）年には、ICBタンクを2個積み込むことができるトラックタイプの専用車を開発、導入しました。現在、IBCローリーシステムでのサービスが進み、約2,200社の取引先のうち約400社に新方式で販売しています。全体の半数をIBCに切り替えるのが同社の目標です。「取引先では4種類のオイルを使用されていることが多いのですが、車両の新型化によって、今後は2種類まで集約されるでしょう」と、福田さんは予測します。そうするとタンク洗浄などの費用が削減でき、さらに安い値段で潤滑油を提供することができます。

「潤滑油の市場はますます縮小する傾向にあります。販売から保管、運送、最終処理までのワンストップサービスをさらに突き詰めて、顧客へのサービスをもっと充実させる必要があります」と福田さん。

そのために今着手しているのは、オイル残量検知システムの構築です。顧客に提供しているオイルタンクの残量をインターネットを通じて同社で検知できるようにして、自動受発注や欠品防止、物流の合理化につなげる考えです。「進化したIBCローリー方式を武器に、新規販売売上げを3年後累計1億円を目指します」。

事業概要

株式会社FUKUDA

代表：代表取締役社長 福田 喜之
業種：自動車用潤滑油等の卸売業
創業：昭和44年9月1日
設立：昭和51年9月1日
住所：〒607-8170 京都市山科区大宅向山6番地
TEL：075-573-3030 FAX：075-575-1144